



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月9日

上場会社名 SEMITEC株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6626 URL http://www.semitec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 淳也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 豊井 義次 TEL 03 (3621) 1155
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,525	△4.5	372	9.7	251	△40.5	42	△84.0
28年3月期第2四半期	6,836	6.3	339	△4.0	422	△9.3	268	△29.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △596百万円 (△720.7%) 28年3月期第2四半期 96百万円 (△86.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	15.12	—
28年3月期第2四半期	94.98	94.98

(注) 29年3月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	11,971	6,842	57.1	2,416.29
28年3月期	12,045	7,495	62.2	2,647.01

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 6,842百万円 28年3月期 7,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,088	△0.7	676	3.3	579	△13.0	239	△27.5	84.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
除外 1社（社名）S. E. G. CO., LTD

（注）詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積り変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	2,831,900株	28年3月期	2,831,900株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	213株	28年3月期	213株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	2,831,687株	28年3月期2Q	2,831,692株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会資料の入手方法について）

当社は、平成28年11月25日（金）に、機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日の説明会資料については、開催同日に当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では低水準の失業率を維持し、景気の回復が続きましたが、中国の景気は緩やかに減速しました。欧州では英国のEU離脱に伴い先行きが不透明であります。ドイツ、英国により、全体的に緩やかな回復となりました。また、日本は、底堅い個人消費や生産・輸出が横ばいでありましたが、雇用情勢の改善により緩やかな回復基調となりました。

この状況下、当企業グループは、当第1四半期連結会計期間に引き続き自動車関連は好調でありました。しかしながら、OA機器及び家電関連の販売は回復基調でありましたが、前第2四半期連結累計期間に比べ大幅に円高であったため、売上高は前年同四半期を下回りました。なお、利益面では、製造コスト削減や外注移管が貢献し、売上総利益率は改善し、営業利益は前年同四半期を上回りました。また、当第2四半期連結会計期間末日の為替相場が、前連結会計年度末日に比べ円高に推移したため、為替差損137百万円計上し、経常利益は前年同四半期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,525百万円（前年同四半期比4.5%減）、営業利益は372百万円（前年同四半期比9.7%増）、経常利益は251百万円（前年同四半期比40.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は42百万円（前年同四半期比84.0%減）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(日本)

自動車及び住設機器関連の販売は増加しましたが、一部の販売が薄利であったことや研究開発費等の販売費及び一般管理費が増加した結果、売上高2,056百万円（前年同四半期比7.4%増）、セグメント損失219百万円（前年同四半期はセグメント損失40百万円）となりました。

(中国)

自動車関連の販売が増加しましたが、OA機器及び家電関連の売上高は、為替相場が円高に推移したことや商流変更（その他アジアへ）があったことにより減少しました。一方で、外注移管等によるコスト削減を行った結果、売上高3,311百万円（前年同四半期比17.4%減）、セグメント利益463百万円（前年同四半期比48.6%増）となりました。

(その他アジア)

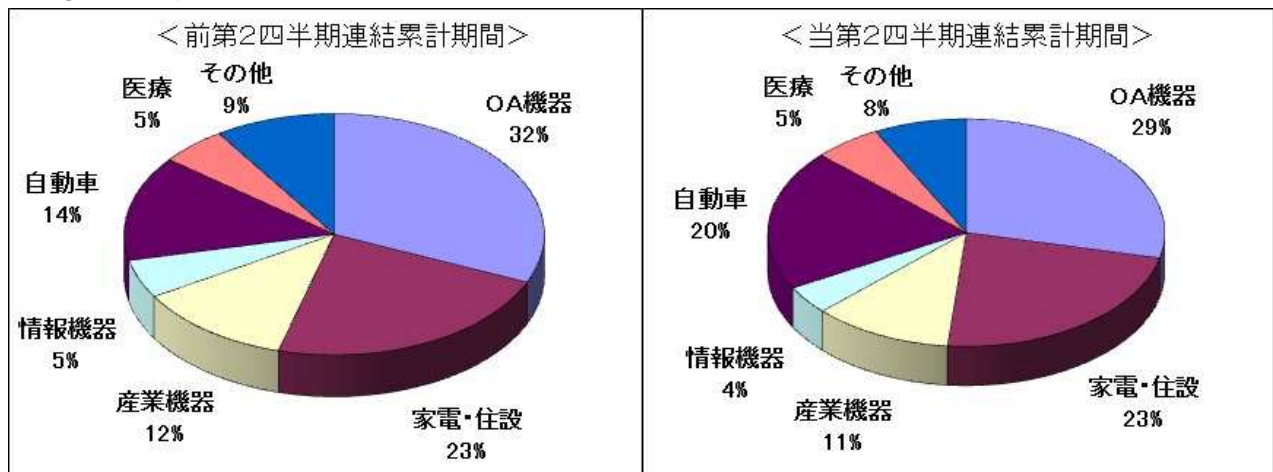
韓国におけるOA機器及び家電関連販売の増加や中国セグメントからの商流変更等により売上高が増加しました。また、フィリピン子会社の生産性改善やベトナム子会社の稼働が安定した結果、売上高878百万円（前年同四半期比35.6%増）、セグメント利益42百万円（前年同四半期はセグメント損失9百万円）となりました。

(北米)

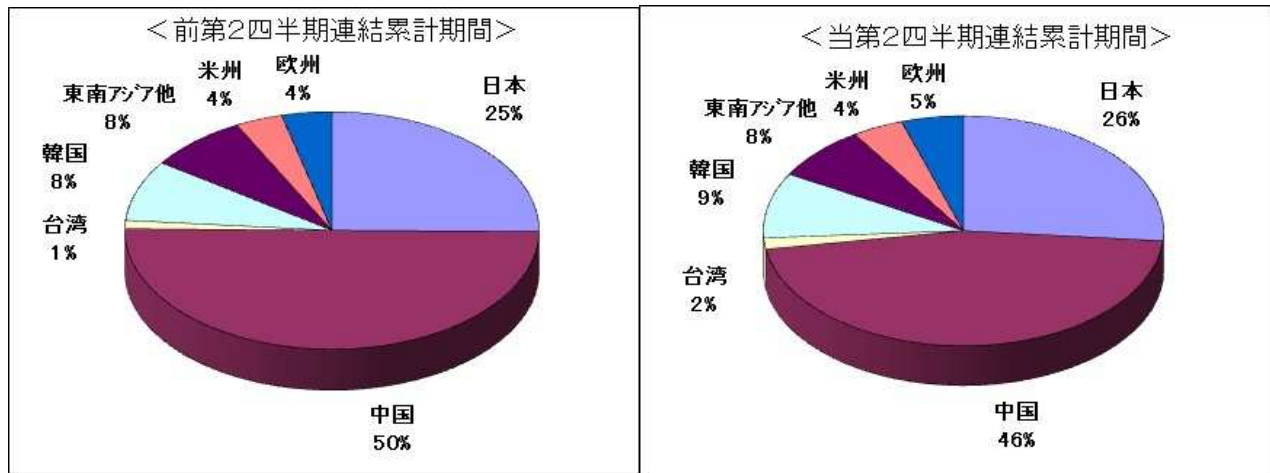
医療及び情報機器関連の販売が増加した結果、売上高279百万円（前年同四半期比5.9%増）、セグメント利益63百万円（前年同四半期比33.1%増）となりました。

上記は各拠点の所在地を地域別に集計したものであります。

参考①：用途別販売比率



参考②：地域別販売先比率



※参考②は販売先の所在地を地域別に集計したものであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ、73百万円減少し、11,971百万円となりました。

その主な要因は以下の通りであります。

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ34百万円増加し、8,772百万円となりました。

これは、主に受取手形及び売掛金の増加と仕掛品、原材料及び貯蔵品の減少によるものであります。

(固定資産)

前連結会計年度末と比べ108百万円減少し、3,198百万円となりました。

これは、主に有形固定資産の減少によるものあります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ351百万円増加し、3,768百万円となりました。

これは、主に支払手形及び買掛金、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の増加によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比べ228百万円増加し、1,360百万円となりました。

これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ653百万円減少し、6,842百万円となり、自己資本比率は57.1%となりました。

これは、主に為替換算調整勘定の減少によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ303百万円増加し、2,620百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、495百万円となりました(前年同四半期は、651百万円の収入)。これは主に仕入債務の増加424百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、343百万円となりました(前年同四半期は、247百万円の支出)。これは主に、固定資産の取得による支出316百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、379百万円となりました(前年同四半期は、183百万円の支出)。これは主に、長期借入れによる収入405百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえて、平成28年5月13日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成28年11月9日)公表いたしました「平成29年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当企業グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当社の関係会社であるS.E.G.CO.,LTDは、平成28年6月30日付で清算終了となったため、第1四半期連結会計期間末をもって連結の範囲から除外しております。

また、世美特電子(威海)有限公司は、平成28年5月において、清算を決議しており、現在清算手続き中であり、

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,316,569	2,620,127
受取手形及び売掛金	2,995,649	3,174,884
商品及び製品	1,857,254	1,533,559
仕掛品	616,799	583,391
原材料及び貯蔵品	695,471	601,012
その他	268,109	265,944
貸倒引当金	△11,316	△6,093
流動資産合計	8,738,537	8,772,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,405,206	3,267,371
減価償却累計額	△2,208,144	△2,198,044
建物及び構築物（純額）	1,197,062	1,069,327
機械装置及び運搬具	4,857,312	4,522,148
減価償却累計額	△4,059,230	△3,737,293
機械装置及び運搬具（純額）	798,081	784,854
土地	618,004	609,460
建設仮勘定	150,477	187,677
その他	937,957	917,784
減価償却累計額	△697,661	△692,455
その他（純額）	240,295	225,329
有形固定資産合計	3,003,921	2,876,648
無形固定資産		
ソフトウェア	12,224	12,594
その他	62,282	52,193
無形固定資産合計	74,507	64,787
投資その他の資産		
投資有価証券	131,317	119,482
繰延税金資産	748	783
その他	100,928	140,779
貸倒引当金	△4,853	△4,134
投資その他の資産合計	228,141	256,910
固定資産合計	3,306,570	3,198,347
資産合計	12,045,107	11,971,173

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,064,323	1,182,671
短期借入金	1,354,566	1,540,467
1年内返済予定の長期借入金	254,560	293,944
リース債務	9,139	11,747
未払法人税等	84,327	66,424
その他	650,156	673,122
流動負債合計	3,417,072	3,768,377
固定負債		
長期借入金	441,625	652,696
長期末払金	159,220	159,220
リース債務	22,237	31,839
繰延税金負債	214,698	218,572
退職給付に係る負債	285,649	288,608
その他	9,093	9,681
固定負債合計	1,132,523	1,360,618
負債合計	4,549,596	5,128,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	762,852	762,852
資本剰余金	643,320	643,320
利益剰余金	5,597,998	5,584,189
自己株式	△315	△315
株主資本合計	7,003,856	6,990,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,113	2,864
為替換算調整勘定	495,846	△146,628
退職給付に係る調整累計額	△7,305	△4,104
その他の包括利益累計額合計	491,655	△147,868
純資産合計	7,495,511	6,842,177
負債純資産合計	12,045,107	11,971,173

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,836,226	6,525,491
売上原価	4,852,238	4,512,514
売上総利益	1,983,987	2,012,977
販売費及び一般管理費		
給料	549,655	539,778
賞与	64,102	59,928
法定福利費	74,282	89,955
福利厚生費	32,200	27,510
退職給付費用	32,340	28,160
役員報酬	88,057	98,642
雑給	6,567	11,246
研究開発費	206,681	234,911
その他	590,902	550,473
販売費及び一般管理費合計	1,644,791	1,640,607
営業利益	339,196	372,370
営業外収益		
受取利息	1,913	3,166
受取配当金	3,353	260
為替差益	34,036	-
作業くず売却益	19,665	14,474
助成金収入	2,103	15,296
雑収入	40,852	15,485
営業外収益合計	101,924	48,683
営業外費用		
支払利息	6,948	5,655
為替差損	-	137,274
ゴルフ会員権評価損	4,714	-
雑損失	6,768	26,749
営業外費用合計	18,431	169,680
経常利益	422,689	251,374
特別損失		
関係会社清算損	-	55,492
減損損失	6,084	-
特別損失合計	6,084	55,492
税金等調整前四半期純利益	416,604	195,881
法人税、住民税及び事業税	124,701	152,013
法人税等調整額	19,763	1,043
法人税等合計	144,465	153,057
四半期純利益	272,139	42,824
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,177	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	268,961	42,824

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	272,139	42,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△125	△249
為替換算調整勘定	△175,171	△642,475
退職給付に係る調整額	△719	3,200
その他の包括利益合計	△176,017	△639,524
四半期包括利益	96,122	△596,699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,329	△596,699
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,207	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	416,604	195,881
減価償却費	211,428	185,774
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18	△5,017
受取利息及び受取配当金	△5,266	△3,427
支払利息	6,948	5,655
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,612	5,121
為替差損益 (△は益)	16,244	122,764
減損損失	6,084	-
関係会社清算損益 (△は益)	-	55,492
売上債権の増減額 (△は増加)	△184,694	△611,204
たな卸資産の増減額 (△は増加)	126,892	208,941
仕入債務の増減額 (△は減少)	72,130	424,972
その他	120,669	75,051
小計	788,637	660,005
利息及び配当金の受取額	5,173	2,223
利息の支払額	△8,161	△5,264
法人税等の支払額	△134,095	△161,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	651,552	495,071
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,675	-
固定資産の取得による支出	△225,122	△316,122
固定資産の売却による収入	-	25,022
その他	△12,554	△52,348
投資活動によるキャッシュ・フロー	△247,352	△343,448
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,200,000	1,721,709
短期借入金の返済による支出	△1,142,177	△1,531,331
長期借入れによる収入	-	405,000
長期借入金の返済による支出	△150,980	△154,544
自己株式の取得による支出	△93	-
配当金の支払額	△84,951	△56,633
リース債務の返済による支出	△5,269	△4,398
財務活動によるキャッシュ・フロー	△183,472	379,801
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39,092	△227,866
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	181,636	303,558
現金及び現金同等物の期首残高	2,426,720	2,316,569
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,608,357	2,620,127

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	中国	その他アジア	北米	
売上高					
外部顧客への売上高	1,913,980	4,010,932	647,716	263,596	6,836,226
セグメント間の内部売上高又は振替高	476,625	1,302,509	1,038,606	189	2,817,931
計	2,390,606	5,313,442	1,686,323	263,785	9,654,158
セグメント利益(△損失)	△40,304	311,850	△9,110	47,396	309,832

(注) 日本…当社 SEMITEC株式会社

中国…SEMITEC (HONG KONG) CO., LTD、石塚国際貿易(上海)有限公司、SEMITEC TAIWAN CORP.、

感応貿易(深圳)有限公司、S. E. G. CO., LTD、世美特電子(威海)有限公司、泰州石塚感応電子有限公司、石塚感応電子(韶関)有限公司、江蘇興順電子有限公司、石塚感応電子(深圳)有限公司

その他アジア…SEMITEC KOREA CO., LTD、SEMITEC ELECTRONICS PHILIPPINES INC.、Thai Semitec Co., Ltd、SEMITEC ELECTRONICS VIETNAM CO., LTD.

北米…SEMITEC USA CORP.

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	309,832
セグメント間取引消去	7,523
たな卸資産の調整額	17,655
その他	4,185
四半期連結損益計算書の営業利益	339,196

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「中国」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失処理を行いました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において6,084千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	日本	中国	その他アジア	北米	
売上高					
外部顧客への売上高	2,056,045	3,311,332	878,747	279,366	6,525,491
セグメント間の内部売上高又は振替高	454,435	1,474,954	788,441	321	2,718,153
計	2,510,481	4,786,287	1,667,188	279,687	9,243,645
セグメント利益（△損失）	△219,916	463,507	42,443	63,107	349,140

(注) 日本…当社 SEMITEC株式会社

中国…SEMITEC (HONG KONG) CO.,LTD、石塚国際貿易（上海）有限公司、SEMITEC TAIWAN CORP.、感応貿易（深圳）有限公司、S.E.G. CO.,LTD、世美特電子（威海）有限公司、泰州石塚感応電子有限公司、石塚感応電子（韶関）有限公司、江蘇興順電子有限公司、石塚感応電子（深圳）有限公司

その他アジア…SEMITEC KOREA CO.,LTD、SEMITEC ELECTRONICS PHILIPPINES INC.、Thai Semitec Co.,Ltd、SEMITEC ELECTRONICS VIETNAM CO.,LTD.

北米…SEMITEC USA CORP.

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	349,140
セグメント間取引消去	12,115
たな卸資産の調整額	7,626
その他	3,488
四半期連結損益計算書の営業利益	372,370

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。